

特定非営利活動法人AWAKE Lab. 設立趣旨書

1 設立の趣旨

私たちは2011年、東日本大震災という未曾有の災禍に直面し、「被災地に向けて、今私たちに何ができるのか」という切実な問いを抱きました。その答えとして辿り着いたのが、支援する側が疲弊するのではなく、「自分たちが時間を忘れるほど夢中になれること、心から楽しめること」を分かち合い、そのエネルギーを義援金という形に変えて届けるという活動でした。

こうして産声を上げたのが、ものづくりを通じた地域コミュニティ「AWAKEマーケット」です。私たちは「大人が楽しむ姿こそが、子どもたちの夢を育む」という信念のもと、山梨の各地でクリエイターと市民が響き合う場を15年間にわたり継続してまいりました。

私たちの活動は、単発のイベントの集合体ではありません。日常の「マルシェ(楽しむ場)」で生まれた活気が、作り手の生き様を伝える「インタビュー(共感の場)」へと繋がり、そこから生まれた情熱が、全国の作り手が目標とする「本格的なクラフトフェス(挑戦の場)」へと昇華されます。さらに、それらのイベント会場は、カンボジアで子どもたちや地域の人々を支援する日本人の活動を応援し、HOCの岩田さんによる子ども支援(下着提供など)や、Fresh fruit factoryの塩漬け胡椒、Very berryの雑貨など現地の生産・文化を紹介・販売する「国際支援(共感と循環の場)」の拠点となります。

「楽しむこと」が「誰かの力」になり、「表現すること」が「次世代の夢」になる。音楽もヨガも、すべては一人ひとりの心と身体を整え、この幸せな循環に参加するための大切なピースです。AWAKE Lab. は、これらの活動の一つに編み上げ、一人ひとりの『やってみたい』を形にする「未来のキャンパス」としての役割を担います。

そこで私たちは、これまでの15年の実績を礎とし、新たに「特定非営利活動法人AWAKE Lab.」を設立いたします。当法人は、地域、子ども、文化、音楽、そして一人ひとりの心を支える「6つの柱」を軸に、多様な表現者が集い、新しい未来を創造する『未来のキャンパス』としての役割を担います。大人が心から楽しむ姿を子どもたちに見せ、夢をのびのびと育てられる土壌を耕すことで、山梨から世界へと繋がる、豊かで持続可能なコミュニティの実現に寄与することを目的といたします。

2 申請に至るまでの経過

2011年 : 東日本大震災を機に「AWAKEマーケット」を始動。

2011年～2025年: 山梨県内各地にて定期的なマルシェ・ワークショップを継続開催。延べ数千人のクリエイター、県民が参加。

2013年7月 : 山川紘矢・亜希子夫妻を招き講演会を山梨県立図書館にて開催。参加者約150名。

2015年5月 : 植松努氏を招いた講演会を山梨県立図書館にて開催。参加者約350名。

2024年～2025年: てんつくマン氏による投げ銭トークライブ・ワークショップを山梨県立図書館と県民プラザで開催。

2026年3月 : 活動の持続性と公共性を高めるため、法人化に向けた検討を開始。

2026年5月 : カンボジア視察を通じ、国際相互支援事業の具体案を策定(設立準備活動として実施)。

2026年5月 :設立総会を開催。

2026年6月 :法人設立の認証申請。

今、私たちは「楽しみながら誰かの役に立つ」という小さな一歩が、国境や世代を超えて大きな変化を生むことを知っています。15年の歳月をかけて育ててきたこの「AWAKE」という種を、法人化という形でさらに大きな土壌へと移し、山梨の地から「未来のキャンパス」を広げていく決意です。

以上の理由により、特定非営利活動法人AWAKE Lab. を設立いたします。

2026 年 6 月 29 日

設立代表者

氏名:中川 マリ